



## アイバンク情報

(財)富山県アイバンク

### ◆ お一人の方からご献眼いただきました。

去る5月17日、富山市内の10代の男性の方よりご献眼頂きました。ご葬儀には、地区ガバナーの感謝状をご両親へ伝達、弔辞の拝読を致しました。お二人の方が移植手術を受け、視力を取り戻しておられます。ありがとうございました。

### ◆ 献眼者へ厚生労働大臣感謝状伝達式が行われました。



去る5月18日、昨年4月から本年4月までにご献眼いただいた故人17名に対して、厚生労働大臣感謝状伝達式が行われました。県庁特別室において、鎌仲厚生部長よりご遺族様へ感謝状を伝達、高田理事長より改めてお礼のご挨拶を述べました。

伝達式後、ご遺族の皆様と懇談会を開催し、アイバンクに対する積極的なご意見を頂戴しました。今後のアイバンク活動に活かしたいと思っております。

### ◆ 5月の事業実績の概要

献眼登録者数	56名(年度累計 103名)／	献眼者数	1名(年度累計 10名)
寄付金収入	100,000円／累計		200,000円
賛助会費収入	3,000円／累計		869,000円
助成金収入	0円／累計		1,250,000円(日本アイバンク協会助成金分含む)
募金収入	25,834円／累計		125,102円

### ◆ 助成金・賛助会費・寄付金 (5/1~5/31 現在) 敬称略 ありがとうございました。

#### ● 寄付金

・大沢野ライオンズクラブ 100,000円

#### ● 賛助会費

##### 個人

・齊藤譲一(となみ東LC)

#### ● 募金

・大沢野ライオンズクラブ 6,000円

・その他

19,834円

### <富山医薬大付属病院眼科と県アイバンクについて>

去る5月21日、北日本新聞朝刊のトップ記事として<医薬大眼科の教授・助教授不在>とあり、さらに<病院の中核機能にも不安>とスクープされました。不在の理由は「管理能力の不十

分さ」などとされ「診療科長職を解任」との報道でした。その後も連日、この問題を取り上げたキャンペーンを行っています。

県アイバンクとしましては医薬大付属病院を拠点にコーディネートとしているだけにこの問題には、以前より困惑しており、早急な善処を県医務課や医薬大附属病院長宛に申し入れてまいりました。

その結果このたび、鳥取医大より医薬大OBの北川講師が診療科長職につかれ、新しい態勢が整いました。北川講師は「当眼科には五人の専門医がおり、この人員体制は、他の病院に比べても遜色なく、一日も早く高度先進医療を提供したい」と言っています。

県アイバンクを支えるライオンズクラブの皆様には、このことで多大なご心配をかけておりますが、お陰さまで「献眼」は順調に推移しております。尚、献眼された角膜は、日本アイバンク協会のネットワークを通じて「移植」され、多くの患者さんから感謝されています。

しかし私たち県人としましては、早くこの問題が解決され「県人から県人」に移植されますことを願っております。

富山県アイバンクは、今後もさらに献眼運動を展開していきますのでライオンズクラブのメンバーの皆様にはより一層のご支援いただきますようお願いいたします。

(理事長 高田 眞)

〒930-0194 富山市杉谷2630番地 財団法人富山県アイバンク

電話 076-434-5710 FAX 076-436-0146

<http://www.toyama-eyebank.com>

E-mail [info@toyama-eyebank.com](mailto:info@toyama-eyebank.com)